

2021 年度事業報告

定款に定める事業内容

- (1)作業療法の専門的知識および技能を通じて、北海道における医療および福祉の増進に寄与する事業
- (2)作業療法に関する最新の学問的成果および先進技能を普及させ、また奨励振興する事業
- (3)作業療法士の教育機関の教育育成に協力し、もって作業療法士の資質向上に寄与する事業
- (4)作業療法に関する会誌等刊行物の発行に関する事業
- (5)作業療法の学会、研修会、講習会等の開催に関する事業
- (6)作業療法の調査研究に関する事業
- (7)内外の関連学術団体と連絡し協力する事業
- (8)作業療法士の社会的地位の向上に関する事業
- (9)その他法人の目的を達成するために必要と認める事業

上記の事業内容を基に下記のお通り各部局が事業を行った。

令和参年度は、新々5ヵ年行動計画の老年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」、
「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に加え、COVID-19 への対策として、当会の事業も大きく舵を切ることを余儀なくされた令和式年度に引き続き、大変なかじ取りをしなければならない一年となることが見込まれていた。

札幌は、東京オリンピック・パラリンピックのマラソンコースとして開催されたが、7月から9月下旬までデルタ株の侵入などに加え、マラソンなど競技の開催そのものより、大会準備のため人の移動が活発化したことで拡大したとされる第5波を経験した。

しかしながら、参年度は、web 活用によるリモート開催での新人研修・講習プログラムの充実が最も大きな事業で、教育部と関連する会員の努力により、五大領域に、各10回の研修・講習プログラムがなされ、COVID-19 対策における新たな研修・講習の在り方に貴重な実績を遺した。

合わせて、第51回北海道作業療法学会のリモート開催、市民公開講座の別開催により、順延されていた学術集会が無事開催され、今後の学会の在り方における試金石となったことは、誠に喜ばしいことである。

その後、緊急事態措置の終了による「新しい生活習慣」に基づく行動の段階的な自粛の緩和、1月からの第6波の猛威では、とくに医療や介護、教育などの施設において、さらなる自粛が図られた大変な一年となった。

総じて、COVID-19 対策のなか、「新しい生活習慣」にて、士会活動を立て直すとともに、新5ヵ年行動計画を見つめなおし、新々5ヵ年行動計画として新しい作業療法士会の在り方を検討できた一年であった。会員諸氏の理解と協力に心より感謝申し上げる。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

- ・ 定期総会：2020年6月19日
- ・ 定例理事会：年3回
第1回 6月19日、第2回 12月12日、第3回 3月19日
- ・ 臨時理事会：年2回
第1回 4月24日、第2回 9月25日
- ・ 常任理事会：年2回開催
第1回 7月17日、第2回 2月11日
- ・ 三役会：年5回開催
第1回 4月23日、第2回 6月19日、第3回 9月24日、第4回 12月9日、第5回 3月19日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

- ・ 士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電26件：養成校入学式12件、養成校卒業式11件、弔電3件

[財務部]

1. 2021年度予算執行の管理

2. 2021年度中間決算

3. 2021年度収支決算書の作成

4. 2022年度予算案の作成

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 日本作業療法士協会・47都道府県委員会との連携

3. 多職種連携情報交換会の企画 2022年2月25日（金）ZOOMにて開催

【学術部】

[編集委員会]

1. 2021年度[作業療法の実践と科学]の企画・編集・発行

- 1) 電子版発刊：5月末日、8月末日、11月末日、2月末日
- 2) 冊子版：2022年2月に発刊、3月発送

3) 特別講座の原稿依頼, 投稿規定修正

4) 査読者任期更新

2. 投稿論文促進の取組み継続

1) 第 51 回学会優秀演題発表者、論文化推奨者、ならびに課題研究助成者へ投稿促進のお手紙を送付

2) ニュース(毎号)に、投稿論文募集の案内、PSOT 掲載論文のタイトル等の掲載

3) Twitter に発刊のおしらせ、投稿募集を掲載

3. 優秀論文賞の選考審査

1) 2020 年最優秀論文賞の表彰(賞状、副賞授与)

2) 2021 年最優秀論文賞選考・決定

[学術課]

1. 学術研究助成金について

1) 2021 年度学術研究助成金の助成

2) 2021 年度学術研究助成金の募集・選考審査: 応募なし

【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

1. 養成教育課

1) 研修

- ・ ZOOM によるオンライン研修会として実施した
- ・ 研修回数は合計 82 回であった
- ・ 参加者は 1~3 年目の参加者が多いが、新人研修、現職者研修は幅広い年次の方に参加頂いた
- ・ 認知症アップデート研修会と重点課題認知症講習会は、認知症施策推進課に協力を頂きながら実施した。認知症アップデート研修会については、日本作業療法士協会での事業が中止となったため、次年度以降の道土会での開催について検討が必要である。

・ 研修会の分類と回数

① 北海道作業療法士会研修会	1 回
② 新人研修会(中枢・運動器・精神・高齢期・発達)	各分野 10 回
③ 現職者共通研修会	9 回
④ 現職者選択研修会	3 回
⑤ MTDLP 基礎研修会	2 回
⑥ MTDLP 事例検討会	5 回
⑦ MTDLP 書き方研修会	1 回
⑧ 重点課題研修	5 回
⑨ 全道研修会	1 回
⑩ 実習指導者講習会	5 回

2) その他

- ・ホームページの更新
- ・道士会ニュース記事記載
- ・Twitter の発信
- ・スマレジの管理
- ・事例登録の手続き管理
- ・生涯教育基礎ポイントの管理
- ・SIG 登録の手続き管理

2. 生涯教育課

- ・北海道作業療法士会認定会員研修施設一覧の管理

【調査部】

1. 領域に関するアンケートを実施。2022 年度前半も調査継続
2. LINE から Twitter の運用へ変更となった為、Twitter 解析を実施。他、ホームページと研修会決議の解析も実施
3. 講習会予約ページの管理については今年度は教育部からの依頼無く、実績無し

【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業
 - 1) 作業療法士志望者に関して UTURU14 号を編集。配布（使用）拡大の検討継続。
 - 2) 小・中学生向けの啓発方法の検討、情報収集を実施。OT 漫画の使用拡大を検討。
 - 3) 既存媒体の管理、補充。他団体関連事業等でのリーフレット使用。ノベルティグッズは啓発活動での使用減少にて、補充および使用効率の調査は延期。感染等の世情に合った新グッズの検討を実施。
2. 会員向け情報発信、支部広報部との協業
 - 1) 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、Web データをホームページへ掲載。紙面情報 Web 化への課題（段階付け）を確認、検討継続。
 - 2) 支部広報部とは、道士会ニュースの共同企画を継続。また Web 全体会議にて、各支部広報活動の状況、各支部メールの運用等の情報を共有。
3. 会員内・外向け共通の情報発信と他部局との連携
 - 1) 道士会 SNS の管理、運用（公式 Twitter による投稿とアナウンスを実施、安全運用ガイドラインを作成中、調査部とのホームページへの流入解析を継続）
 - 2) ホームページの管理・運用（掲載、更新作業の実施、一般向けを重視したリニューアル計画の継続）
 - 3) 感染等で既存媒体の活用機会は少なかった。効果的運用を継続検討。

- 4) 刊行物に使用するデータの収集と更新（UTURU、ニュース掲載賛助会員 PR 広告、養成校情報一覧等）
4. 道士会事業（主に写真、画像）データの保存管理、提供
5. 広報関連ガイドラインの管理、運用

【事業部】

COVID19 の影響により、いくつかの事業は中止となった。また、主催研修会はオンラインにて実施した。

1. 公益的活動:

- 1) 北海道医療技術者団体連絡会議主催（医技連）パネル展：COVID19 感染拡大に伴い、今年度は中止となった
- 2) いきいき健康福祉フェア 2021（10 月 15 日～17 日）：COVID19 感染拡大抑止のため主催組織から行政団体が辞退したことや例年参画の他団体の動向を鑑み、今年度は参加取りやめとした

2. 啓発活動

- 1) 「9 月 25 日 OT の日」市井啓発に向けた会員啓発のためクリアファイルを作成し、11 月に各会員に発送した
- 2) LINE 使用中止に従い、Twitter の運用試行・移行を行った
- 3) 高校生啓発：次年度の DVD 作成に向け準備中

3. 研修事業（3 職種研修会、情報交換会）

- 1) 3 職種研修会（OT,CM,MSW）の実施：令和 4 年 2 月 25 日オンラインにて実施した（参加者は OT30 名、CM35 名、MSW6 名）。コロナ禍によるフレイル高齢者への医療連携をテーマに事例報告とグループワークを実施した
- 2) 情報交換会：渉外部企画に協力し令和 4 年 2 月 25 日にオンラインにて実施した

4. 生活行為工夫情報モデル事業：同事業運営チームの啓発告知を OT 士会ニュースに掲載した。

5. 支部事業部連絡協議会：令和 3 年 8 月 27 日に実施し、連携確認を行った

【制度対策部】

1. 新人ガイダンス実施

令和 3 年 4 月 24 日（土）第 1 回講習会終了後にオンライン開催。45 名の参加。

2. 学生向け入会リーフレット・フライヤーの管理、作成と配布

入会リーフレットはデザインを一部変更・更新した上で令和 4 年 1 月に配布。

フライヤーは令和 3 年 10 月に配布。

その他、令和 3 年 12 月にノベルティ（合格祈願鉛筆等）を配布。

3. 学生へ道士会ニュース配布（2 号）：令和 3 年 9 月号、11 月号を配布。

4. みらいカフェ開催

- 1) 道士会ニュース版みらいカフェ通信（育児期における仕事の経験談等）：令和 3 年 9 月号に掲載。
- 2) オンライン版みらいカフェ（仕事場面や育児場面に関する情報交換）

令和4年2月18日（金）ライフプランセミナーとして実施。

5. 制度対策部主催研修会の開催、情報提供

1) 令和4年度診療報酬改定

令和4年3月16日（水）にオンライン開催し、49名が受講。

2) ライフプランに関する情報

令和4年2月18日（金）にオンライン開催し、20名が受講。

6. 団体傷害保険の管理、運営

Chubb 損害保険株式会社と団体総合補償制度費用保険（WIZ）を1300名で契約更新。

7. 診療報酬相談・福利相談への対応

診療報酬相談・福利相談ともなし。

8. 養成校・養成校連絡協議会との連携

各養成校の窓口担当者の更新。

組織強化に関する印刷物やノベルティの学生への配布協力を頂いた。

【地域部】

[企画運営課]

1. 「地域支援事業に資する人材育成研修会」の企画運営

1) 地域支援事業に資する人材育成研修（ベーシック）

令和3年9月18日（土曜日）開催 受講者9名（OT9名）

2) 地域ケア会議における認知症を持つ方と自動車運転の助言ポイントと事例検討

令和3年11月22日（月曜日）開催 受講者25名（OT25名）

3) 北海道作業療法士会と北海道歯科衛生士会との共同研修会

令和4年2月5日（土曜日）開催 受講者30名（OT15名、歯科衛生士15名）

今年度受講者合計64名（内、OT49名）

2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進：延べ登録者数17名

3. 地域ケア会議同行研修事業：2か所の調査を実施

1) 当別町：令和3年10月22日

2) 八雲町：令和4年1月26日

4. OJT研修会修了者の情報管理

5. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理

6. 士会認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理

7. 道士会ニュースへの寄稿：9月号、3月号

[地域推進課]

1. 士会受託市町村事業および士会受託地域ケア会議の把握(地域作業療法推進に関する企画書・報告書の管理)

2. OJT研修会修了者の情報管理

3. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理及びその活用
4. 認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理・活用
5. 地域作業療法推進のための普及活動
道士会ニュースにて11月号「地域部地域推進課の紹介」の記事を掲載
道士会ホームページに「地区長名簿」「市町村担当者名簿」「市町村アドバイザー認定者名簿」のバナーを設置
6. 「地域包括ケアシステムにおける作業療法の推進に向けて実践者の調査事業」を年2回、会員向けに実施
7. その他、地域作業療法推進に関連する事業の情報管理

[認知症施策推進課]

1. 広報事業

- 1) 実践事例集の増刷：150部（令和4年3月）、別冊実践事例集の編纂：4事例を追加し別冊事例集として編纂（令和4年3月）
- 2) 道士会ニュースへの寄稿：5月号、7月号、1月号
- 3) 講師派遣：2件（札幌市、全国地域リハ研究会）

2. 人材育成事業

- 1) 当事者・家族会支援及び連携強化事業：感染予防のため中止
- 2) 重点課題研修会：山田氏（北海道医療大学）12月19日(日)13:30~
UD研修会：西村氏（北海道認知症の人と家族の会）1月22日(土)13:30~

3. 調査事業

UD研修修了者へのアンケート調査：31名/141名、研修終了後、認知症事業の企画・運営までは繋がっておらず、実践事例の提供者発掘には繋がっていない。今後、学会等の報告者からの人選を進める。

4. 渉外事業：感染予防のため中止

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 2021年度 第11回定期総会開催・運営
2. 2022年度 第12回定期総会開催準備

[学会評議委員会]

1. 2021年度 第51回学会（WEB開催）の支援
2. 2022年度 第52回学術大会（現地+Webハイブリッド開催）の支援
3. 2023年度 第53回学術大会の大会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 2021年度 第51回学術大会の参加者の動向調査（学会実行員会）

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営：コロナ禍ということもあり、他施設の協力が得られにくい状況。引き続き、打診を行う
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営：江別市、北海道大学、札幌医科大学、文教大学のスタッフで運営中
3. 新5カ年計画への対応：担当部局等の変更・調整を実施
 - 1) 障害者総合支援法及び発達領域の関係法令（児童福祉法及び教育法）への提言
 - 2) 特別支援教育等への作業療法士の参画推進：ワーキンググループの設立に向けて適任者の選出を実施
4. 理事会で決議された議案への対応：今年度は未実施
5. 遠隔研修（オンラインおよびオンデマンド研修）の実施準備：今年度は未実施

[規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の整理
2. 定款とその他規程のすり合わせ
3. 新たに必要な規約の調査

【特設委員会】

[災害対策委員会]

1. 災害訓練の実施
9月25日日本作業療法士協会主催の災害訓練を実施：回答数721、回答率22.1%（総会員数：3267名）
2. 第51回道学会にてワークショップ開催：6月13日 北海道医療大学
3. DO-RAT：北海道災害リハビリテーション推進協議会への参加：会議への参加および講習会の開催
4. DWAT：北海道災害福祉支援ネットワーク会議への参加
5. 帯広学会にてワークショップ開催準備

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催：1回
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と各支部の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 各部局が立案した事業の把握および連携
6. 地域作業療法推進事業の把握および調整
7. 地域部との連携
8. 次世代の担い手事業における講師バンク、依頼の調整、実績・資料等の蓄積

[札幌支部]

1. 会員情報の集約（名簿の更新）、支部財務管理
2. 支部内会議（3回）、ブロック連絡会議、ブロック研修会・交流会の開催（東厚白ブロックのみ）
3. 札幌支部施設間連絡会は中止
4. 広報誌の発行（年1回）
5. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会、現職者選択研修の運営
6. いきいき福祉フェア実施、ミニさっぽろ・医団協パネル展・OT啓発活動は中止
7. 出張講座への講師派遣中止
8. 外部関係機関への会員派遣
9. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会（オンライン開催・支部ニュースでの報告支部）支部内各部会議の開催（オンラインにて2回開催）
3. 広報誌の発行1回
4. 現職者共通研修の運営協力
5. 地域作業療法推進事業：市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、市町村の新総合事業に向けての協力、組織化

[空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 役員用掲示板の管理
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、市町村の実態把握、各市町村との連携、各市町村地域ケア会議参加

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会は開催（オンライン開催・支部ニュースでの報告）、支部内会議の開催（オンラインにて2回開催）
3. 広報誌の発行1回
4. 道士会主催支部企画講習会・現職者共通研修会の運営協力
5. いきいき健康祭り（令和4年2月に講演形式で参加）
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議（POS 合同で開催）、市町村の実態把握（POS・他コメディカル合同情報意見交換会）

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌発行（年2回）、新人歓迎会・懇親会は中止
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつり・リレーフォーライフ事業の参加、子育て応援 EXPO への参加、健康フェスタとまこまいへの参加、とまこまいキッズタウン 2021 は中止
6. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会2回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行2回
4. 道士会主催新人研修会の運営10回
5. OTの日啓発事業の企画運営、NPO祭りの参加（ポスター展示）
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）、函館市介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）

[道北支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部報告会・支部内会議の開催
3. 広報誌の発行6回、懇親会の開催
4. 道士会主催新人研修（運動器）の運営
5. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業への参画（HARP へ依頼）

[十勝支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部内会議（4回）、ブロック会議の開催（2回）
3. 広報誌2回発行、新人歓迎会を ZOOM にて開催

4. 道士会主催新人研修会の運営 10 回
5. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業への参画：地域ケア会議参加 帯広市介護予防事業への OT 派遣、部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約（支部内の会員名簿の調査・管理）、支部財務管理
2. 支部意見交換会・支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回、新人・支部交流会の開催
4. 道士会主催現職者講習会の運営 2 回
5. 支部事業部主催研修会の開催、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催
6. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業への OT 派遣